

科目名	専攻ダンススキル 4							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 1 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	SHIGE		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダンサー	
【科目の目的】									
コレオグラフ技術指導、課題発表、修正ディスカッションのローテーションで作品作りの実習を行います。また様々なジャンルの振付けに対応できるダンス技術を実技形式で学びます。									
【科目の概要】									
コレオグラファーとして様々な要求に対応できる振付のバリエーションを学ぶとともに、ミュージックビデオ、コンサートなどダンスの目的を理解したうえで制作をする為の知識を実践演習を中心に学んでいきます。									
【到達目標】									
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。									
【授業の注意点】									
コレオグラフ技術指導、課題発表、修正ディスカッションのローテーションで作品作りの実習を行います。また様々なジャンルの振付けに対応できるダンス技術を実技形式で学びます。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A									
到達目標 B									
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する							
レポート	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する							
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する							
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		専攻ダンススキル4				年度	2025
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	導入レッスン/振付師の職業を理解する						
2	振付課題実技指導①/SHIGE講師の振付を覚え実践できるようになる						
3	振付課題に繋げるパート制作①						
4	ヒップホップの振付を制作した学生の課題発表とアドバイスを行う						
5	ジャズの振付を制作した学生の課題発表とアドバイスを行う						
6	振付課題実技指導②/SHIGE講師の振付を覚え実践できるようになる						
7	振付課題に繋げるパート制作②						
8	ヒップホップおよびハウスの楽曲を用いて振付制作をした学生の制作発表を行う						
9	ジャズおよびヒールダンスの楽曲を用いて振付制作をした学生の制作発表を行う						
10	振付課題実技指導③/SHIGE講師の振付を覚え実践できるようになる						
11	振付課題に繋げるパート制作③						
12	女性アーティストの楽曲を課題にした学生の制作発表とアドバイスを行う						
13	男性アーティストの楽曲を課題にした学生の制作発表とアドバイスを行う						
14	振付課題曲提出・振付制作						
15	課題発表・講評						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等